

1. 日米株式と円/ドルの推移



(注)チャートは過去1年

	単位	2015/12/31	2016/2/29	2016/3/25	過去3年高値		過去3年安値	
		(前年末)	(前月末)	(前週末)	水準	日付	水準	日付
日経平均	円	19,033.71	16,026.76	17,002.75	20,952.71	2015/6/24	11,805.78	2013/4/2
NYダウ	ドル	17,425.03	16,516.50	17,515.73	18,351.36	2015/5/19	14,434.43	2013/4/5
円/ドル	円	120.22	112.69	113.08	125.86	2015/6/5	92.57	2013/4/2

過去3年高値・安値はザラ場ベース / 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

2. 日本株市場 先週の振り返り ~ 17,000円を挟んで揉み合う展開 ~

先週の日本株市場は、週間ベースで日経平均が+277.94円(+1.66%)、TOPIXが+21.00ポイント(+1.56%)となり、17,000円を挟んで揉み合う展開となりました。業種別(東証33業種)にみると、水産・農林業、ゴム製品、その他製品など25業種が上昇する一方、鉱業、銀行業、卸売業など8業種が下落しました。連休明け22日の日本株市場は、円安ドル高の進行や、先々週末の米国株市場の上昇などを受けて上昇して始まりました。しかし23日から24日にかけて、①22日に起きたベルギーの連続テロを受けて、一時111円前半まで円高ドル安が進行したこと、②米国株市場が下落したこと、③原油価格が下落したことなどをを受けて軟調に推移しました。週末は、セントルイス連銀のブラド総裁が追加利上げの時期が近づいている可能性があることと発言したことなどをを受けて円安ドル高が進行したことなどから、上昇に転じ、日経平均は再び17,000円台を回復して引けました。

3. 今週の主な予定

日程	曜日	国・地域	項目	前回	
3月29日	Tue	日本	失業率	2月	3.2%
			全世帯家計調査 支出(前年比)	2月	-3.1%
		米国	イエレンFRB(米連邦準備理事会)議長の講演		
3月30日	Wed	日本	S&P/ケース・シラー住宅価格指数(前月比・季調済)	1月	0.80%
			消費者信頼感指数	3月	92.2
		米国	鉱工業生産(前月比)	2月	3.7%
3月31日	Thu	米国	ADP雇用統計	3月	214千人
		米国	シカゴ購買部協会景気指数	3月	47.6
4月1日	Fri	日本	日銀短観 大企業製造業	1-3月期	12
			非農業部門雇用者数変化	3月	242千人
		米国	失業率	3月	4.9%
			ISM製造業景況指数	3月	49.5
		中国	製造業PMI	3月	49.0
		財新中国製造業PMI	3月	48.0	

決算発表予定 他	国・地域	内容
	日本	決算発表 : 3/28 ニトリホールディングス
	米国	決算発表 : 3/30 マイクロン・テクノロジー

※ 当社が信頼できると判断した情報に基づき作成

4. 日本株市場 今週の見通し ~ 週前半は強含んだ後、週末にかけては、米国においてISM製造業景況指数や雇用統計など主要経済指標の発表を控え揉み合う展開 ~

今週の日本株市場は、週前半、①セントルイス連銀のブラド総裁の発言等を受けて米国の利上げを織込む動きが進む中、円高ドル安圧力が後退していること、②来年の消費税増徴の見送りや補正予算といった景気対策が打ち出される可能性が高まっていること、③28日は3月末決算企業の権利付き最終売買日に当たることなどから、強含む展開を予想します。その後週末にかけては、①国内機関投資家は年度末に向けて売買を抑える動きとなりやすいこと、②週末1日は、米国においてISM製造業景況指数や雇用統計といった主要経済指標の発表が重なることなどから、揉み合う展開を見込みます。その他の注目材料として、日本では30日の鉱工業生産や1日の日銀短観、米国では29日のイエレンFRB議長の講演、中国では1日の製造業PMIなどが挙げられます。